

住民が主人公の安心して生活できる元気いっぱいの泉川のまちづくり



泉川
まちづくり
新聞

2013 第11号

平成25年3月27日
泉川まちづくり
協 議 会



私の喜び

「泉川は変わってきたね」と言われること

泉川公民館長 今 西 光 昭

泉川まちづくり協議会の歩みは5年を迎えようとしています。「自分達の町は、自分達の手で」をモットーに、みなさんの力を合わせて、私達のふるさと泉川が変わってきたことを実感しています。まだまだ5年しか経っていない時点で、評価できることは少ないと思いますが、私の感じている変化をご紹介致します。

まず一番目には「子どもが公民館に集まってきた。」ということ。従来の公民館は高齢者や女性の利用が多く、子どもの姿は皆無でした。小学校の隣に公民館が移ったことも影響がありますが、土曜日や放課後に子ども達の居場所ができたことが大きいと思います。地域の行事にも小・中学生がいろいろな役割を担ってくれるようになりました。道で出会った子ども達から大きな声で挨拶

されることも増えた気がします。学校でも、読み聞かせや見守り隊、学校支援地域本部活動などが定着してきました。子ども達は私達の地域の宝です。これからも地域全体で、やさしくその成長を見守っていききたいものです。

二点目は、「新しい活動がたくさん生まれたいこと」です。国道バイパスの美化活動、大型ゴミ回収や生ゴミの堆肥化、子ども達の安全マップ、小学校での読み聞かせ、ふるさと塾などが始まりました。これらの活動は、地域の様々な課題を見出し、その解決のために何ができるか考え、主体的に取り組んできたので、新しい人材が担ってくれています。若手、新規人材の参加が、地域の力を高めています。

三点目は「全国の公民館仲間との

交流拡大」です。最近、泉川公民館には県内外から多くの研修希望が舞い込んできます。私が情報提供に行く機会も増えました。そのことは、私達のささやかな活動に共感してくださる仲間がいるということで、私は客観的な評価を受けるよき機会だと思っています。決して井の中の蛙にはならないよう、謙虚に学ぶ姿勢を持ちたいと思っています。これらの研修で思うのは、今、全国の公民館が置かれている状況が厳しく、何とかして地域を元気にしていきたいという熱意をみんなが持っているということです。研修で生まれたネットワークを私達の財産として、これからも育んで行きたいと思えます。

こうは言ってもまだ、変化の実感はいささかかもしれません。変化などないと思われる方も多いでしょう。しかし、間違いなく泉川は皆さんの力で、前を向いて着実に歩んでいると私は信じています。「泉川に暮らしてよかった、ここに住んで幸せだよ」と感じられる、『幸福度』の高い地域になるようにこれからも『自分達の町は、自分達の手で』の気持ちで大切に、みんなで頑張っていきましょう。私もこんなことができる

よ、一緒にやってみたいと思う方、いつでも公民館に声をかけてください。新たな仲間、大歓迎、いつでも仲間募集中です。



泉川まちづくり協議会 会長 藤田 勉

今日の地域課題や環境問題、そしてすべての地域の皆さまのニーズに添えていくには、行政の取り組みだけでは限界があり、そこに暮らす住民の主体的な活動を広げて、活動団体の相互連携や行政との協働を促進して、地域コミュニティの課題解決力を高めていくこと即ち泉川のモットーである。自分たちでできることは自分たちでやろう。また、キャッチフレーズとしてこれまで親しんでいる「大好き泉川」、これらも早いもので5年、これまでのまちづくりの中心的に存在価値を高めております。

まちづくり協議会は地域の皆さまのご寄附とまちづくりの活動団体や手法等を活かしながらまちづくり活動を行っています。今後も活動団体相互の連携や、住民総参加を推進して、地域力の向上を図ってまいります。

「地域主導型公民館」として5年、これまでの公民館と違っていますか？地域主導型公民館といえど何か特別なことをしなければならぬかというところではありません。公民館は変わっていません。地域の皆さんが変わってきているのです。変わってきたと思いますよ。

先日のお好き泉川のブログにこんなことが載っていました。
 標題は、「公民館の理想の姿は『幸民館』なんだよね。」

行政には多様な解決すべき課題があり、様々な方法論に基づき事業を推進している。しかし、政策がいくらか優れていても、それを具現化して

いく術を持っていない事例がいかに多いことだろうか。地域の拠点として、みんなで解決してきた体験が、地域の末端にまで政策を伝え、事を起こしていくことができるのは、公民館しかないと思える。

そしてもう一つ、行政課題を解決することは住民にとって決してマイナスにはならない。公民館が立ち上がり、我こそが担い手だと言え、予算も人間も充実されるに違いない。今こそ、課題解決の拠点として名乗りを上げるそんな公民館が出てくることを期待している。とあった。

地域主導型公民館から新たな到達点が見えてきた。山に例えると、もう何合目まで登っているのだろうか。それは時代の変化とともに移り変わっていくのかもしれない。イギリスの登山家マロリーが「なぜ、あなたはエベレストを目指すのか」と問われて「そこに山があるから (Because it's there.) 」と答えたという逸話は有名ですが、私たちもそこに山(目標)がある限り登って行かなくてはならない。



まちづくり協議会総務部

まちづくり協議会総務部 会長

村上 挙明

まちづくりも発足して5年目を迎えました。今や私達のまちづくりは西日本で有名になり、佐賀県、鳥取県や徳島県の公民館、連絡協議会に講師として招かれたり高知県の高岡公民館協会の33名が来館したり、三谷コミュニティセンターのまちづくり協議会がバスで来館。又市内では神郷公民館が来たりして交流がされたりし、一躍有名になって参りました。

現在7つの部会が計画を立て総務部会で意志の疎通をはかり実施をしています。参加者の幅をもっと拡大したいと思えます。各ブロックで各部に1〜2名の協力をして欲しいし、今後安定した資金を確保をする必要があります。自分達の町は自分

達で住みよい人としての絆の深まり、自助共助が出来たまちづくりをしたいと思っています。

校区連自ガ中心となつて10数年前に立ち上げた花いっぱいのに開花させましょう。



安全安心部会

部会長 原田 脩 三

皆さんこんにちは。日頃は安全安心部会の諸活動にご尽力を頂きありがとうございます。

当部会は防災や交通安全など安全で安心できる地域づくりに「自分たちができることは自分たちでやる」と取り組み、以来4年目を迎えることが出来ました。これも偏にみなさまのご支援の賜物と感謝申し上げます。

それでは、少しでも部活動に理解を深めて頂ければと、昨年の主な活動をご報告致します。まず最初に

○交通安全教室

7月に岡山大の橋本准教授のご協力の下、昨年に引き続き2回目の開催です。泉川小学校で1年生から3年生を対象に交通安全クイズにより正しい交通ルールを確認しました。12月には3回目として、小学校教職員を対象に橋本先生の講義ならびに橋たか女史作成の交通安全紙芝居を鑑賞し、同紙芝居を橋本先生から小学校福本校長へ贈呈しました。

○まちあるき

10月に小学校全児童、中学校1年生にリーダーをお願いして保護者、自治会などメンバー約700人で通学路をまちあるきしました。まちあるき終了後女性部ならびに関係者みなさんによる「いも炊き」を校庭で賞味しました。



○防災訓練

6月に物産展会場でプログラムの一つとして岸の上ブロックの防災訓練を予定しています。

以上が主な活動報告です。「継続は力なり」と申します。新年度も引き続き同様に活動してまいりますので、よろしくお願いたします。



子ども支援部会

部会長 大原 好 喜

私達の校区では子どもたちの姿を多方面で見えるような事業に取り組んでいます。このようにこの8年、青少年育成、泉川つ子体験教室など、地域での活動を通して子どもたちと接してきました。子どもたちをとりまく環境には、さまざまな要素が絡み合っており、その中で問題が見えてきました。そこで公民館では「聞く力」「話す力」「それらと関わる力」からそれぞれ豊かな人間関係を築くためのコミュニケーションワークショップを開催いたしました。保育園から中学校までの保護者の皆さんを対象に3回シリーズで予定したものでしたが十分な参加者が得られませんでした。

私たちの目標は、この泉川に住んでいて良かったと思える校区にしていこうです。そのためにやらなくてはいけないことがたくさんあります。子ども支援部もそのうちのひとつです。子どもまつりも、公民館まつりも、フクフク通学合宿も、ウォーキング大会も、泉川つ子体験教室も、たこ揚げ大会も、室戸の大自然体験活動も、雪合戦参加も、みたに駅伝参加もまだまだあげれば沢山あります。そして、家庭環境に左右されない、子どもが持っている個性と力を

引き出すこと、いつでも学びなおせる機会を用意し、21世紀の主役である子どもたちが、希望をもって生きる勇気と力をつけるために、活動を続けていきたいと思います。

いじめ、不登校等々・・・改善されたといえるでしょうか。地域のつながりって、本当になくなってしまうのか？子どもや子育て中の家庭を応援している人が、できる支援のアイデアを出し合えたらと思います。子どもの育ちを応援しながら、大人のまなびの場や地域のつながりをもっともっと育んでいくために、子ども支援部と一緒にやりましょう。待っています。



地域福祉部会

部会長 森田 敏裕

〇年輪の会

「人生の節目である『喜寿』を迎えられた方々を公民館に招待して校区の皆さんで喜寿のお祝いをする式典です。」



平成23年度(昭和11年生れの方)61名の該当者の内26名の方が出席、11月10日(土)午前10時より泉川公民館にて実施されました。式典は森田社協泉川支部長の挨拶のあと、村上連合自治会長の記念品贈呈、泉

小の皆さんに依る手作り「メタル」の贈呈、藤田まちづくり協議会会長、佐々木新居浜市長さんのお祝いの言葉、来賓紹介、喜寿のお祝いに対してお礼の言葉を河野忠臣さんが述べる、あと記念撮影、泉川健康体操を行いました。

会食は連合自治会女性部の皆さんに依る手作りのおにぎり、汁物外、乾杯の音頭は澤田真生さんに、乾杯

今回のアトラクションは最初に黒森会の和太鼓でスタート、少林寺拳法の演武、ソーラン踊り、真沙登会の日舞、田坂さんのトランペットとなりました。

参加者一同は楽しいひとときを過ごせたと思っております。最後に閉会の言葉を村上連合自治会長より預り閉会とす。



〇「歳末たすけあい福祉支援」実施
12月22日(土)に泉川校区の「独居高齢者」「在宅老夫婦世帯」等を対象に民生委員の調査のもとに40名の方々に二千円の寸志、赤飯、泉小の有志に依るみなさんのメタル(メッセージ入り)を、民生委員、見守り推進員、自治会役員、泉川小学生の皆さんで高齢者宅へ廻り配布しました。

訪問後、公民館まで帰ってきた順番に連合自治会女性部の皆さん方に用意してもらった手作りの昼食(おにぎり・汁物外)心あたたまる食事を頂きました。

その食事の中で泉中生より、おじいちゃん、おばあちゃんと少し話が出来たこと、笑顔でありがとうの言葉が印象にのこりました 感想です。

メッセージの紹介

- ・いつまでも元気で長生きしてね!!
- ・いつもわたしたち泉川っ子の事を見守ってくださいありがとうございます。これからも見守っていて下さい。

環境・美化部会

部会長 太田 初

平素より皆様には、当部会の活動にご理解とご協力を頂き、誠に有り難うございます。

さて、平成24年度の活動報告ですが、泉川校区内における美化と環境を重点に活動を行いました。

美化面での主な事例として、毎年恒例の花いっぱい運動や大好き泉川を行いました。

校区内の所々に地域の皆さんと一緒に種から育てた苗を植え、校区全体を花で飾ることが出来ました。また今年には三浦保基金を活用して、丸太で製作した箱を設置して国道バイパスから出る枯葉や雑草等を集め堆肥作りをしました。

次に環境面では、こちらも恒例となりました夏と冬の廃品回収ですが、各家庭からの不用品等を資源としてリサイクル出来たことは、少なからずとも社会貢献に役立ったのではないかと思います。また岸の上連合自治会館近くの廃屋を、地域の皆さんや部会員所属の企業様の御協力を頂き、きれいに解体整地することが出来ました。



動を継続的に行っていくつもりです。そして、私たちの住む地域の為、次世代の子どもたちの為に自らの手でこの泉川校区の環境美化を推進し、美しい街にしていきましょう。今後ともご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

生涯学習部会

部会長 野本 敏久

生涯学習部会の昨年度の活動は、1月に本年度からスタートした小学校の123年生への読み聞かせ実施に当たつての指導者研修を兼ねた「読み聞かせ講座」から始めました。読み聞かせの関与は、創造性、自立心、相手の気持ちを思いやれる、リーダーシップ、我慢できる、お手伝いをよくする、本を読む子供に育つ、家族同士のスキンシップの向上等々、子供の発達行動との間に相関関係があるといわれています。地域の子供達の成長へのお手伝いを協議会が係わり家庭での、読み聞かせが更に広まることのきっかけづくりを行わせていただきました。

5月には、ナースログによる「人權コンサート」を実施、自作の詩と歌による人と人の絆を大切にしようとする心温まる集会でした。「私たちは、家族、友人、仕事仲間、地域で様々な人たちとの繋がりで生きています。お互いに感謝し、生まれ変わったらもう一度ここに生まれたい。そう云えるところにしたい。」この言葉が印象的でした。

6月には「転ばない体と住まい」高齢者の転倒防止の工夫の講座を老人クラブ、健康づくり部会、地域福祉部会と共催で実施いたしました。



た。高齢化に向かつて健康年齢を如何に高めていくか、学習することは沢山あります。昼間の実施で82名の参加があり、質疑も多く関心の高い講座でした。

このように、生涯学習部会では、安全、福祉、子供の支援、健康、年金、原子力等の地域に於ける様々な問題や知りたいことを選んで、毎月1回程度の学習（「ふるさと塾」の開催）する機会づくりに取り組みました。今後とも地域の皆様のご要望を取り上げ住み良いまちづくりの一端に繋げて参ります。みんなでまちづくりの基礎創りであり、心を豊かにする学習に参画しようではありませんか。

健康づくり部会

部会長 山内光男

健康づくり部会では この三年間「健康で楽しいまちづくりは まず健康から」をキャッチフレーズに地域の皆さんと一緒に取り組んで参りました。

泉川健康体操も今では公民館や地域の中でも広がりを見せラップを持てば健康体操と云われるようになりました。皆さんの協力にお礼申し上げます。

平成24度の活動をご報告いたします。

○毎月12日まちづくり協議会定例会の前に全員がロビーで泉川体操を実施しています。感謝祭、年輪の集いにも参加し全員で楽しく体操を行いました。

○8月21日 上泉町の篠原壮一郎先生による「健康と美容の基礎知識」と題しての講演開催。

○8月25日 大好き泉川っ子の子どもたちを交えてゴーヤ料理教室を開催
子ども達と調理・試食するなかで正しい礼儀・作法など教えることも大事だと思いました。



○12月8日 子ども支援部会・泉小PTAと共催によるウォーキング大会開催 110名参加
ウォーキング最後に小雨になりましたが無事終了。

○12月9日 子どもまつりお手伝い 体育館にて軽スポーツのスマイルポーリング・ペタンクを行い子ども達と楽しいひと時を過ごしました。

○11月10日 年輪の集いにて青木先生の指導するはつらつ媛の南中ソランをお披露目していただき大好評でした。

読み聞かせ教室

泉川まちづくり協議会 顧問 篠原 茂

小学校の、読み聞かせボランティアとして、毎週小学校に通っています。

学校には、毎週金曜日の朝一番の時間、この教室でという決めごとがあれば、気軽に学校に行けるようになりました。いつでも来て下さいよりも、ノルマがある方が行きやすいですね。

子どもたちの「学力向上の一環」として取り組んだ事業でしたが、この読み聞かせ活動は新鮮であり、未体験の挑戦でしたが、読み聞かせを通じて、子ども達と直接交流が出来ています。

教室に入るまでは少し緊張、本を読みだすと子どもたちの視線を感じながら、子どもたちの反応を確かめながら、本の選定、読み方、そして、子どもたちに、学校での様子を聞いたり、友達との仲間づくりの大切さを話したりと多岐にわたっています。約20分の本読みですが心心地良い緊張感を保ちながら終了です。

先生からは、読み聞かせの後は、子どもたちも落ち着いた気分で授業に入る事が出来ると歓迎の言葉もありました。

まさに、子ども達の笑顔、そして真剣なまなざしが、落ち着いた学びの環境を生み出し、大人にも生きがいと自己実現をもたらしました。あなたも参加してみませんか。



平成24年度 まちづくり協議会収支決算書

泉川まちづくり協議会

	収 入	備 考
繰越金	443,134	
泉川まちづくり寄付金	747,800	
子どもゆめ基金	210,000	
資源ゴミ回収	14,076	大好き泉川の日
大型ゴミ回収	76,441	8月、12月 年2回
市連合自治会交付金	514,000	感謝祭7万円 年りんの集い5万円
校区社協協力金	120,000	感謝祭、ねんりんの集い
預金利息	54	
雑収入	1,400	
合計	2,126,905	

	24年度 予算	事業内容	24年度 決算	備 考
総務部会	300,000	ヘルメット 80個	114,000	各ブロックへ配分
		備品代	8,445	
		見舞金	5,000	火災見舞
		まちづくり新聞	176,400	
		合計	303,845	
安全安心部会	100,000	登下校マップ	91,782	まちあるき
		テープ	1,960	
		合計	93,742	
健康づくり部会	100,000	万歩計	13,000	
		ラジカセ	15,010	健康体操用
		ゴーヤ料理教室	11,816	
		ウォーキング	35,419	
		合計	75,245	
地域福祉部会	250,000	泉川感謝祭	124,744	
		ねんりんの集い	136,958	
		合計	261,702	
環境美化部会	700,000	花の土及び苗代	462,845	春と秋2万個
		工具代	95,197	プロアー他
		堆肥づくり棚	115,750	バイパス設置
		燃料代及び旅費	35,607	
		合計	709,399	
子ども支援部会	300,000	室戸青少年自然の家	208,000	ゆめ基金
		子どもまつり	98,699	
		三谷駅伝	7,617	
		合計	314,316	
合計	1,750,000		1,758,249	

25年度へ繰越金 368,656円

平成24年度 泉川まちづくり協議会 及び 学校支援地域本部事業について事例発表

- 徳島県公民館連絡協議会職員研修会
- 高知県「地域とともにある学校づくり推進協議会」(学校支援地域本部事業)
- 米子市企画部市民自治推進課
- 岡山県備中地区社会教育実践研究交流会
- 高知県越智町教育委員会職員研修会
- 京都府公民館職員研修会
- 高知県香南市保育所及び学校評議員連絡会
- 大分県教育委員会
- 山口県長門市教育委員会

平成18年度から始めた寄付金制度ですが、今日のまちづくりの活動があるのも、地域の皆さんのご支援があればこそだと感謝をいたしてあります。今後より一層、泉川が温もりのある触れ合い溢れるまちにするため、地域の皆さま、是非、ご寄附にご協力を願います。ご寄附金は一口3千円です。公民館でも随時受け付けています。

平成25年度
大好き泉川まちづくり
寄付金のお願い